

土湯こけし



江戸時代末期に生まれ、東北地方で発展し愛され続けてきた伝統こけしが、今再びブームになっています。限られた色と形から引き出される素材でポップなデザインに乙女心をくすぐられる女子や外国人も増えているとか。日本三大こけし発祥の地の一つと言われる土湯温泉を訪ねて、土湯伝統こけし工人組合長の陳野原幸紀さんに歴史、魅力、新たな取り組みなどを伺いました。

「きぼこし」はこけしの昔の呼び方の「こたよー」



土湯温泉きぼこちゃん

昭和22年生まれ。24歳の時に、こけし工人の実兄に師事。こけしを福島の伝統工芸品の一つとして広く認知される活動をしている。

土湯伝統こけし工人組合 組合長
陳野原 幸紀 さん



1体1体手作り
温もりが心を癒やす

昭和40年代から50年代の第二次こけしブームを経て、第三次こけしブームと言われる今、その魅力を陳野原さんは「愛らしい表情にあるのではないか」と感じているそうです。蛇の目模様、頭、「かせ」と呼ばれる赤い髪飾り、胴にろくろで描いたしま模様の特徴の土湯こけしは、素材で大らかで、見飽きることはないかわいらしさが魅力です。プロは1体1体同じように作りますが、その中でもわずかに感じ取れる表情の違いなどが、こけしを買い求める人の愛着や癒やしにつながっているようです。



木で作る芥子人形のようにだから「こけし」

こけしは、鉢や盆などの木製の生活用品を作る木地師がろくろを挽いて作り始めた木の人形のことです。湯治客が子どものお土産にと買い求め、各地に広まっていったのだそ



▲ろくろを回転させ、手作りの専用道具で一つつ削りあげていく



土湯の伝統こけしを未来へ残す取り組み

半世紀にわたり、こけしを作り続けてきた陳野原さんは「伝承は、脈々と続いてきたものを踏襲すること。一方、伝統は昔を重んじながらも新しいものを取り入れ、変わっていくこと」と話します。「人間って欲が出てくるから、もっといいものを作りたくなる。だから若い人たちには、どんどん挑戦してほしい。いいものは必ず残ります」



1ろくろの回転を使ったりろくろ模様、手描き模様など多様な技を組み合わせで描彩していく 2ろくろ回転で生じる熱を利用して頭部を胴にはめ込むと、摩擦熱で煙が上がります。「はめ込み式」なので首を回すと「キキキ」と音が鳴る 3こけし制作に使う専用道具は、用途に合わせて自分で手作りしている

伝統のなかの新しいこけし 創作こけし

工人たちの知恵と技術が詰まったこけしのニューフェイスたち。



絆こけし ほほえみがえし

絵付け体験



土湯こけしの絵付け体験ができます。筆を使い、好きな表情や柄を描いて、あなただけのオリジナルこけしを作ってみてはいかがでしょう？

アサヒ写真館 ギャラリー 福島市土湯温泉町字下ノ町9 ☎024-595-2101 ☎午前10時～午後4時30分 ☎不定休 ☎1人950円(税込)

まつや物産店 福島市土湯温泉町字下ノ町25 ☎024-595-2156 ☎午前8時～午後5時 ☎不定休 ☎1人950円(税込) ※要予約。

四季の里 福島市荒井字上驚西1-1 ☎024-593-0105 ☎午前9時～午後3時(最終受け付け) ☎年末年始、施設点検日 ☎1人1,080円(税込)

第42回 土湯こけし祭り 平成29年4月15日(土)16日(日)

会場：土湯温泉観光案内所前コミュニティー広場 ☎土湯温泉観光協会 ☎024-595-2217

15日(土)午前10時～
こけし・筆供養祭やこけし山車の披露など
●こけし研究家 高橋五郎氏トークショー
「年代によるこけしの変化」
☎午後2～3時 ☎ニュー扇屋 ☎約60人

16日(日)午前9時30分～
エ人が絵付けたこけし型絵馬プレゼント、大抽選会など
●東京こけし友の会会長と各地の工人によるトークショー
「こけしの日本遺産登録を目指して」
☎午前10時20分～ ☎山水荘 ☎100人



土湯こけしの特徴



※詳しいスケジュールなどはお問い合わせください。